令和2年度　美作市立英田小学校　学校だより　12月号

共に 伸びる 英田っ子

～かしこく・やさしく・たくましく～

あたまをはたらかせ、進んで学習する子（知）　いのちを大切にし、進んで運動する子（体）　だれとでも仲良くし、進んでやさしくする子（徳）

仲良し集会(12/11)　～「なかよく」を考える～

11日(金)には、運営委員会の計画により、「仲良し集会」が開催されました。会では、運営委員会が主体的に「コロナウィルス感染・誹謗中傷 NO!」をテーマに脚本を書き、劇を披露してくれました。他にも「人に関するクイズ」、「人権に関するポスター・標語・作文」の発表がありました。

「誰とでも仲良くする（できる）」「他者を理解しようする」態度は、子ども、大人に関係なく大切です。社会や身のまわりの出来事に関心を持ち、「自分は〇〇と考える」「自分なら□□する」と主体的に考える姿勢が、今後一層重視される時代です。

【紹介のポスター・作文の中から】

私は、どんな思いでこの絵をかいたかというと、はだの色やかみの色やかみがたや服そうや何もかもちがっても、差別せずにみんな仲よしで友達だよという思いでかきました。　【4年　有本倖羽　さん】

「いじめについて」　　6年　檜尾　礼琥

僕は、ちょっと前に、ニュースを見ていると、ある学校の子が、悪口を言われたり、いじめを受けたりして、自殺してなくなったということを知りました。そういったニュースを最近テレビでよく見ることがあり、僕は気になっています。

このことについて、僕は、言葉はとても怖いし、軽い気持ちでふざけて言ったことが大きなことになる場合もあると思いました。だからどういった行動をすべきか、人に発言するときは考えてから言うことがとても大事だと思います。

いじめの問題をなくすために、僕の考えが二つあります。

一つ目は、相手の気持ちを考えて自分がされたらどうかということを考えながら、行動することです。

二つ目は、どの人にも同じように声をかけたり、助けたりすることです。

僕は、前に一度、人の机に体が当たって、菌がついたと言ったり、悪口を言ったりしたことがあります。「菌だ」と言いながら、友達とつけ合っていることを友達が先生に言ってめちゃくちゃ怒られました。僕はまだ、相手の気持ちや自分がされたらどう思うかを考えていませんでした。でも、だんだん学年が上がっていくと、先生が「いじめはしちゃだめだよ」「悪口は言ってはいけないよ」と言っている意味をだんだん理解するようになりました。

「なぜ、あんなことをしたんだろう」、「なぜ、理解できなかったんだろう」など、いろいろなことをしたことがだめだったなと今でも思います。友達につらい思いをさせたことを後悔しています。

今では、いじめがなくて、みんなと仲良く遊んでいます。いじめをして楽しんでいるより、外で元気にサッカーなどをしている時の方が、よっぽど楽しいです。いろいろな友達と遊ぶと楽しいです。

このような経験から、僕はやっぱり人と話す時、どのような言葉が良いか考えること、相手の気持ちを良く考えて行動することが大事だと思います。そして、どの友達にも、平等に接することにも気を付けたいです。いろいろな友達がいますが、どの友達にも同じように声をかけたり、困っていたら助けたりできる人になりたいです。

これから、いじめでつらい思いをしたり、自殺をしたりする人がいなくなってほしいと思います。

2学期終了!!　新年の目標を具体的に!!

運動会の練習から始まった2学期も終了します。保護者・地域の皆様のおかげで様々な行事を工夫しながら行うことができました。心からお礼申し上げます。新年を迎えるに当たり、子どもたちも気持ちが改まる時期です。「○の△が□になるように、◎を～のように頑張ってみる!」と具体的に目標を考えてみてはどうでしょうか。少し頑張ればできそうなこと、簡単な内容からやってみましょう。小さな一歩は、気がつけば大きな力に変わります。どうぞよいお年をお迎えください。　【令和2年12月22日校長作成】